

神社の不思議

みなさんは、初参りにどの神社に行きますか？ 神社には、様々な名前や佇まいがあり、よく見ると少し変わった造りのものもあります。そのような何気ない不思議なものが、新たなジオの発見につながることもあります。

小向にある高田神社は、船越と小向からの参道があり、急な坂道と長い階段を登って行きます。以前は、お祭り際、重たい御輿を担ぎ、この急な坂道や階段を上り下りしていたと聞きましたが、とても信じられません。

また、参拝の際に鳴らす鈴は、拝殿入り口から離れた場所に付いています。焼火神社の宮司である松浦道仁さんの話では、「高田神社は、焼火神社と同じように岩穴に本殿を造ったが、狭い敷地のため、拝殿を元の場所の横に建てなおしている。」ということでした。長い階段と鈴の位置は、そもそも岩穴に本殿を造るためだったようです。そして、対面に当る場所には大山神社があり、美田を広く見渡すことが出来ます。高田神社に参拝した人は、大山神社に向かって拝むこともあり、その逆もあるとのこと。高田神社は小向・船越、大山神社は天津・市部の氏神様なので、美田地区に住む人は双方に感謝し、祈ったのかもしれませんがね。また、隠岐の島町の都万地区にも高田神社という神社があります。何か関係があるのかもしれませんが。小さな不思議でも色々調べてみてジオパークを楽しみましょう。



ジオパーク的な西ノ島の楽しみ方

隠岐世界ジオパーク推進協議会

E-mail info@oki-geopark.jp Tel 08512-2-9636 Fax 08512-2-9626

い 芳 志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

香典返しとして

金一封 嶋本 肇 様 浦 郷
金一封 松浦 節子 様 小 向

一般寄付として

金一封 齋藤 幸子 様 東京都

戸 籍 の 窓

(平成27年12月届出分)

(敬称略)

おくやみ

新田 マツ子 96歳 小 向
重谷 八重子 85歳 浦 郷
岩佐 淑 93歳 美田尻
瀬戸 千代治 77歳 赤ノ江

すこやかに

福島 光莉 ひかり 洋平 美里
関谷 亮 りょう 学 奈美 別 府
美田尻

「ふるさと西ノ島基金わがこ」にご寄付を頂きました。

寄付者…2, 829名

平成27年度分 寄付金総額

五三, 八二三, 五〇一円

(平成27年12月末現在)

ありがとうございます。

財政課

税務係からのお知らせ

2月分の納期限は2月29日(月)です。(定期口座振替日も2月29日(月)、再振替日は3月10日(木)です。)

●国民健康保険料 11期

●後期高齢者医療保険料 8期

(普通徴収の方)

納付等に関する相談は町民課(6)0103までご連絡ください。

にしのみまマイバッグキャンペーン実施中!

12月末現在、のべ254, 820枚のレジ袋が節約されました。皆様のご協力をお願いいたします。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会

西ノ島見聞録



こんにちは。隠岐の冬を初体験して風の強さに驚きました。出張で島外へ行きフェリーが欠航して帰れないというハプニングもありました。荒波のなか進むフェリーに初めて酔いにも。知夫里島を過ぎると一気に揺れがなくなり、江戸後期から明治時代にかけて「風待ち港」として栄えた事がよくわかりました。

さて、少し前の話になりますが、みた保育園でクリスマス会の見学をしました。僕の仕事は北欧からサンタさんをお呼びして子供達に喜んでもらう事で、残念な事にトナカイは病気で連れて来ることが出来ないということでした。トナカイを外す事は出来ないのに急遽トナカイはこちらで用意することになりました。西ノ島中探した結果無事に見つける事が出来ました。名前はトナカちゃんです。



トナカちゃん



子供達はサンタさんとトナカイに大喜びで沢山の笑顔を見ることが出来ました。なかなか子供と接する機会がないので心が癒されました。子供の行事というのは、子供達よりも大人の方が楽しんでるかも知れないですね。みんなにクリスマスプレゼントを配り終えたサンタさんはまたトナカちゃんと共に別の町へ去っていききました。みた保育園の職員、園児の皆様そしてサンタさん、ありがとうございました。

そして、今回はもうひとつ。すでにご存知の方はいらっしやると思いますが、実は僕たち地域おこし協力隊は「にしのしまの日々」というブログを更新しております。活動や協力隊の休日の出来事を面白可笑しく綴っております。イベントや何かがあると写真のお願いとブログに載せて良いですか？と声をかける事があると思いますのでご協力をお願いします！もちろん顔出しNGでも問題なしです。気になった方は「にしのしまの日々」で検索を！では今年も1年よろしくお願しますー！！

西ノ島日記

スズキ

みなさん、こんにちは。地域おこし協力隊の鈴木です。

この場を借りて、冒頭にどうしても言いたいことがあります。地域の皆様、いつも応援してくださったり、ご協力してくださったり、ありがとうございます。本当に感謝しています。どう恩返ししたいかわからないので、私はとりあえず自分の目の前の仕事をちゃんとやろうと思います。

私の仕事は、ざっくり言うと、「西ノ島」と「誰か」を『ツナグ』ことです。

ちなみにそれはデザインやアートで可能です。

半年ほど西ノ島で暮らしてみても、気づいたことがあります。西ノ島には本当にたくさんの素晴らしい景色があります。それは有形のものもありますし、目に見えない無形のものもたくさんあります。ちなみに、世界レベルで見たら、まだ大半の人は西ノ島のそれを知りません。というか、西ノ島の存在自体も知りません。

ただ、自信を持っていえることは、嘘のないありのままの西ノ島を発信すれば、きっと世界が西ノ島を好きになります。なぜなら、私が西ノ島のことが好きだからです。

ただ、私には最近悩みがありました。情報発信に携わりながら、西ノ島を世界の人々にあまり知られたいという逆説的な考えを持っていたのです。例えるならば、自分ひとりだけが知っている隠れ家のような名店を、皆様にご紹介しなければならぬという感覚と同じです。西ノ島が、もし人で溢れ返ったら、西ノ島の良さは消失する気がしてならなかったのです。

でも、違う視点で考えることである大切なことが見えてきました。大切だったのは、西ノ島と「都会」との違い、西ノ島と「他の田舎」の違いを深く考え、「変えるべきもの」と「残すべきもの」を決めて、西ノ島の未来を守ることだったのです。

西ノ島にとってどういう未来が望ましいのか。正解は1つではありませんが、意識を高めながら情報発信をすることで、さまざまな正解を見つけたと思います。

